

協議会だより

発行◆第五地区住民自治協議会／会長：小林 忍 編集◆総務広報部会 広報委員



本年もよろしくお願いします

第五地区の皆さん、新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、第五地区住民自治協議会が発足してから16年が過ぎ、『この町で：安心して暮して行くには！！交流の場を「広げ」「作り」人を知ろう』をテーマに、各部会で住民の皆様が参加しやすい、楽しい計画を立て、新しい皆様も参加されるようになってきたと感じています。

ご存知のように、第五地区内には新しいマンションが立ち並び住民の数も増えてきています。しかしその反面、住民自治に対する希薄化も顕著になってきています。

本年も皆様の顔が見える事業を企画していきますので、ご支援ご尽力を賜り、第五地区が更に発展しますように、ご協力のほどお願い申し上げます。

本年も、皆様にとって良い年であるよう、ご祈念申し上げます。

第五地区住民自治協議会 会長 小林 忍



第五地区に待望の「一時避難場所(水害・地震)」ができる

日本電設工業株式会社 NDK長野ビル新社屋に（中御所3丁目）

第五地区には「水害時」に一時避難できる場所が無く、県庁より北の高台か、2階以上の垂直避難での避難方法を周知してきました。

2023年に、社屋の老朽化により建て替える話があり、日本電設工業が進めてきたZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）仕様の新社屋に建て替えるにあたって、第五地区での洪水時避難場所の空白地帯の解消に、ビルの3階会議室を「災害時一時避難場所」に提供したい旨のお話がありました。

10月1日の締結式で「災害時における一時避難場所としての使用に関する協定書」を、日本電設工業(株)長野支社長と中御所区長の間で結ぶことができ、住民の皆様がもしもの時、安心して一時避難できる場所ができました。（24時間365日対応しています）



災害は起こってほしくはありませんが、3階の会議室に安心して避難してください。



*ZEBとは、ビルを建てるにあたり、外壁・窓などの断熱性能のアップと、使用電力をほぼゼロにすることを目指し、そのためソーラー発電や蓄電池を備え、もしもの時は発電による電源供給も可能とした。従って、災害時停電が起きた場合、このビルの電力は保持されます。

新社屋にしたことでの、従来の使用エネルギーに対し83%削減を目標にしているとのことです。

生涯学習青少年育成部会

中央線応援乗車と 中山道「奈良井宿」の旅行記

9月12日（金）、1時間に1本の木曽福島・中津川行の普通列車が、木曽谷の住民の唯一の、交通手段となっている。この日も、中津川行の普通列車が2両編成で松本駅から塩尻駅に入ってきた。ゆっくり座れると思いきや、外



国からの観光客で、11時12分着の奈良井駅まで約30分間立つことになった。

この木曽谷にも外国の方の姿が増えてきたようだ。

奈良井駅に45名の参加者が降り立ったが、生憎の小雨で、片手に傘の散策になつた。中山道にはたくさんの宿場があるが、この奈良井宿は昔の面影が一番残る宿場町のようだ。ちょんまげ姿の旅人がそこにいるような感覚になり、何ヶ所かある「水場」で喉を潤し、小さなお蕎麦屋さんで「そばと五平餅」の昼食、一番奥にある「鎮神社」で御朱印を頂き、雨に震んだ奈良井宿を満喫した。

初めて参加された方も多く、小さな旅行に感激されたようで、次回もぜひ参加したいと、嬉しいお声を頂いた。

(Y.T記)



安全防災部会

卒業セレモニーを見学「育っていく我が子に感激」

～長野県消防学校～

9月25日（木）、長野市篠ノ井にある「長野県消防学校」を21名で見学しました。

消防組織法により、長野県消防学校は、県内地域13消防本部（市町村）で今年採用された、新入消防職員をこの学校で、全寮制のもと訓練することになっています。

当日は、6ヶ月の訓練を終了し、2日後に卒業式を迎えるにあたって、家族の皆さんに無事卒業できる喜びを伝えるために、「栄光の架け橋」の音楽にのせて、当日お披露目する放水セレモニーを何度も繰り返し練習していました。



制服の中は、幼い姿がありましたら、規律が厳しく求められる団体訓練を6ヶ月間、全寮制の学校で過ごし、たくましくなった子供の姿を親御さんはどんな気持ちでご覧になるのかと思うと、こちらも胸が熱くなりました。

視聴覚室では、奈良本教授から学校の訓練内容や、消防職員としての苦労話など、ふだん聞けないお話を予定時間を大幅に超えてお聞きし、有意義な研修になりました。



健康福祉環境部会

ノルディックウォーキング講習会

～秋の飯山 心地良く散策～

10月3日（金）、ノルディックウォーキングを開催し、参加者21人で飯山七福神を巡りました。当日はさわやかな秋晴れに恵まれ、初参加7名の方も清水元雄インストラクターからポールの使い方や歩き方のご指導を受け、約2時間のコースに挑戦しました。



最初の明昌寺では、俳句が刻まれた石碑を見学。永江住職からお寺の歴史や、飯山で仏壇が栄えた理由等をお聞きし、寺巡り遊歩道の途中にある珍しい「純金極楽トイレ」にも立ち寄り、飯笠山神社までのコースを満喫しました。

今年の夏を惜しむかのように鳴く、季節はずれのセミの声を聞きながら七福神のご利益をいただき、清々しい気持ちで歩くことができました。

生涯学習青少年育成部会

ワイン講習会

～ワインでつながる地域交流～

10月10日（金）、末広町のイタリアンレストラン「ボスコ」でワイン講習会を開催し24名が参加しました。3回目となるワイン講習会は、シニアソムリエの玉井慎太郎さん（南石堂町区長代理）を講師に、ワイン好きが集まる人気企画となっています。

おすすめのワイン3種類（口ゼ・白・赤）を紹介していただき、色や香りの特徴を学びました。また、小井土文仁シェフのファンの方も多く、ワインに合う美味しい料理に大満足の様子で、「これからもワイン講習会を続けてほしい」との声が届いています。

和やかな雰囲気の中、会話も弾み、笑顔が絶えない交流の時間を過ごすことができました。



安全防災部会

長野県庁見学

～緊張感あふれる貴重な経験～

11月27日（木）、長野県庁「災害対策本部室」と「通信指令課」の見学会を開催し、15名が参加しました。



災害対策本部は、災害が発生又は災害が発生するおそれがある場合に設置され、知事を本部長として情報収集と発信をしています。信州防災アプリを活用し、適切な避難行動や大雨による災害への備えが大切だということです。

通信指令室は、大きなモニターやパソコン、沢山の機材があり、6人の警察官が実際に110番を受理している様子を見学することができました。110番は、県内どこからかけてもこの「通信指令課」につながり、見学中も受理表示の件数が増えていき、参加者の方々は真剣な眼差しを向けていました。110番の知らない世界を学び、有意義な時間を過ごすことができました。

各町のお知らせ



中御所より 防災訓練行われる

9月7日（日）、中御所防災訓練が行われ、隣組長を始め各種団体役員74名の参加がありました。



朝6時からの訓練でしたが、総合訓練として、避難誘導訓練、初期消火訓練が行われ、救護訓練では、腕と足の負傷者を想定し、日赤奉仕団の皆様の適切な救護処置方法を学びました。



個別訓練の通報訓練では、育成会長が119番へ直接通報し、被害発生場所や被害状況等を通報し、いざと言う時に役立つ訓練になりました。今年初めて、ゴーグルを着用し「洪水拡張現実体験」が行われました。集中豪雨の場合、50cmの水位を想定し、避難が如何に大変かを疑似体験しました。

日頃からの防災意識を体験する、防災訓練になりました。

中御所より 中御所文化芸能祭 ～松代焼の魅力を伝える～



11月8日（土）・9日（日）

の2日間、「中御所文化芸能祭」が開催され、



第五地区住民自治協議会主催「松代焼体験会」に参加した11名の作品が出展されました。今回は2回目となる出展で、縄文型の花瓶や美しい大皿など目を引く作品が多く並びました。

焼き上がるまでどんな色に染まるか誰にも分からない、世界でただ一つの作品。信州の自然を表したような青緑の松代焼が、会場を彩りました。

お知らせ

令和8年4月1日から

「資源プラスチック」と「充電式電池等」の回収に変更あり

年度末に配布される「ゴミカレンダー」等でご確認

資源プラスチック

- 通常のプラスチックに硬いプラスチック（タッパー・ハンガー・歯ブラシ等）
が追加（大きさ等に制限あり）

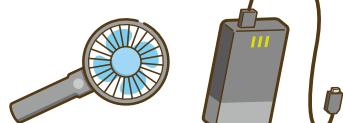
黄色のプラスチック袋へ



充電式電池等

- 乾電池の他に充電式電池等（シェーバー・電子タバコ・モバイルバッテリー等）
が追加（出し方に注意あり）

乾電池専用の赤コンテナへ



第五地区的活動にご意見、ご提案がありましたら、各町の区長さんまたは、事務局にお問い合わせください。

〒380-0833

長野市大字鶴賀権堂町2201番地20

権堂イーストプラザND1階 第一から第五地区合同事務所

TEL 262-1512 (FAX共通)

メール dai5@feel.ocn.ne.jp